

1月17日(金)の学校行事

阪神・淡路大震災追悼行事

平成7年1月17日午前5時46分に阪神・淡路大震災が発生し、多数の犠牲者と未曾有の被害をもたらしました。25年目に当たり、本校においても、午後2時40分から震災追悼行事を行いました。

まず、その犠牲となられた方々のご冥福をお祈りして、職員及び全校生徒が黙禱を捧げました。

次に、校長先生より、自身の体験談をまじえ、この震災で亡くなられた教え子のご両親から託された「命一番」の言葉、震災の経験を教訓として後世に語り継ぐこと、また近い将来起こりうる巨大地震への備えと自助・共助の必要性、そして、「出会い」の大切さについてお話していただきました。

追悼行事終了後、各HR教室で、防災教育副読本『明日に生きる』から抜粋した阪神・淡路大震災の体験談を読み、まとめとして担任の先生の震災に関する話を聞きました。



この震災を経験していない生徒たちが、今後、大人になり、また次の世代にこの大震災の教訓を伝えていくためにも、今日という日をしっかりと受け止めてくれると願っています。